

令和元年度 はごろも小学校の取組み

1 研究主題名

目的意識を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
～聞くこと・話すことを中心とした体験的な活動内容の工夫を通して～

2 研究主題設定の理由

宜野湾市の小学校英語教育課程特例校事業の計画に基づいて、今年度も ALT・JTE が配置され、担任とのティームティーチングの授業が、全学年で行われることになった。昨年度の児童アンケート（本校5年生）の結果によると、「①英語を話すことは楽しい 77%」「②英語を聞くことは楽しい 80%」「③英語で話しかけることがある 45%」「④英語を話せるようになりたい 91%」となっている。6年生についても①77%②79%③39%④96%とほぼ同様の結果であった。子供たちは英語を話せるようになりたいと思っている。話すことも聞くことも楽しい。しかし、英語で話す機会が少ないため、英語を学ぶ意欲の低下につながるものが推察される。

そこで、言語の習得だけでなく、歌やリズム等で英語に親しみ、相手を意識した体験的なコミュニケーション活動を工夫することで、英語が通じる喜びや達成感を味わうことに繋がる。そうすることで、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする児童が育つのではないかと考え、本研究主題を設定した。

3 研究の主な内容

(1) 目標（小学校外国語活動学習指導要領より）

ア 聞くこと

(第1学年及び2学年) 基礎的な英語の音声の特徴に関心を持つこと

簡単な語句を聞き取ること

簡単な質問や依頼、あいさつがわかること

(第3学年及び4学年) 基礎的な英語の音声の特徴に親しむこと

基礎的な文を聞き取ること

基礎的な文で表される質問や依頼、あいさつがわかること

(第5学年及び6学年) 基礎的な英語の音声の特徴がわかること

自然な口調で話されている基礎的な英語を聞き取ること

基本的な質問や依頼、あいさつに応じること

イ 話すこと

(第1学年及び2学年) 基礎的な英語の音声の特徴を真似て発音すること

場面などに応じて、自分の言いたいことを簡単な語句で表現すること

積極的に話そうとすること

(第3学年及び4学年) 基礎的な英語の音声の特徴を意識して発音すること

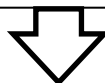
場面などに応じて、自分の言いたいことや気持ちを簡単に表現すること

積極的に続けて話そうとすること

(第5学年及び6学年) 基礎的な英語の音声の特徴を正しく発音すること

場面などに応じて、自分の言いたいことや気持ちを簡単に表現すること

沈黙をしないで、聞き手にわかるように話そうとすること



① 英語学習への関心・意欲を培う

② コミュニケーション能力を高める

(2) 指導方針及び方法

①各学年の実態に応じ、宜野湾市の英語実践指導の手引に基づいて、授業計画を立てる。児童がこれまで習得した基本的な語彙力や表現力を活かしながら、HRT と ALT・JTE とのティームティーチングによる指導を行う。

- ②週に1回程度、HRTとALT・JTEとの英語ミーティングの時間を設け、事前に授業の流れを確認することで、連携して授業が行えるようにする。
- ③各学年の発達段階に応じて、低学年では、歌やリズム遊び、ゲーム、場面にふさわしい簡単な挨拶等体験的な活動を多く取り入れ、高学年では、静かに考えたり書いたりする活動も取り入れるようにする。
- ④行事や他教科と関連させ、英語活動を通して身近な事柄を学ぶことで、より実践的なコミュニケーション能力を養う。
- ⑤学習した英語を活用する機会をより多く設けることにより、英語を使ったコミュニケーション能力を高める。
- ⑥HRTも共に英語を学び、楽しむ姿勢を見せる事、「児童の良さを見つけ、ほめる」を常に心掛ける事で、安心して英語を話せるような雰囲気づくりに努める。

4 本年度の取り組み

(1) 授業の流れ

Lesson Plan 23 Grade 4

1. Topic: What do you want?③ほしいものは何かな? (Let's Try!2 Unit7)
2. Goal: 欲しいものを友達に質問したり答えたりすることができる。
3. Target sentences: "What do you want?"、"I want ____." "Here you are."、"Thank you."

過程	学習活動と内容 Activity	教師の支援	
		ALT/JTE	HRT
導入	1 Greetings CL(class leaders): "Sit up straight." "Let's start English Class." CL ask 2 questions 2 Warm-up Let's sing. Song & dance "Hokey Pokey" 3 Let's write トピックを英語で言いながら書く	Support class leaders. Support students.	Support class leaders. Sing & dance together. HRTがChampionを選ぶ Support students.
展開	4 Let's practice (野菜・果物) ① Repeat after JTE ② Repeat after HRT ③ Repeat after JTE "What do you want?" "I want ×××" ④ Make a pair ⑤ Let me try 5 Activity Let's play changing cards game ① グループ全員で一人に質問する "What do you want?" ② 一人が答える "I want ×××." ③ グループがそのカードを渡す "Here you are." ④ 全体でHRTに質問する。	JTEが丁寧に発音する。 Gestureを使って質問の仕方や答え方を発音する。	HRTがrandomに言う 発表ポイントを与える card(カルタ)を各グループに配る。 HRTが欲しい野菜・果物をいくつか答える。

ま と め	6 Wrap up		質問の仕方や答え方を確認する。
	7 Feed back Fill in the review sheet. CL: "Let' s finish English class.		

新学習指導要領の先行実施に伴い、5つの領域の言語活動を通して、下記のような児童の育成を目指し、学習に取り組んだ。

3・4学年のテキスト「Let' s Try」を活用した授業を行い、5・6学年は、「We can!」を活用し、机やいすのある各教室で、読むこと・書くことの活動に取り組んだ。

聞くこと・話すことの体験的な活動を大切にしながら、高学年は、中学校英語を意識した学習活動を行った。

	聞くこと	話すこと(やり取り・発表)	読むこと	書くこと
低学年	身近な外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ児童。			
中学年	外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ児童。(外国語学習への動機づけを高める)			
高学年	短い話の概要を捉えることができる。	言語活動を通して児童が簡単な語彙や基本的な表現を使って自分の気持ちや考えを表現できる。	簡単な語彙や基本的な英語表現の読み方を活字体の文字と結びつけて発音したり、4線上に書いたりすることに慣れ親しむ。	

4 学年の取り組み

- ・「Alphabet」では、「What' s letter?」と質問し、小文字を読んだり書いたりする活動に取り組んだ。
- ・「What do you like?」では、好きな野菜のカードを選び、好きなものを尋ねたり答えたりする活動に取り組んだ。
- ・「What do you want?」では、野菜や果物カードの中から好きなものを選び、欲しいものを尋ね、相手にカードを手渡す活動に取り組んだ。

5 成果と課題・対応策

(1) 成果

- ・ALT や JTE とのミーティングを授業前に行い、授業をスムーズに行うことができた。
- ・I C T機器を活用した動画や図を用いて授業を行ったため、授業が視覚的に分かりやすく取り組むことができた。
- ・歌やリズムに合わせて体を動かしながら、児童は意欲的に活動することができた。
- ・J T E も A L T も、ほとんど英語で話していたので、子ども達のリスニングの力がついてきた。
- ・フォニックスの練習や口の動きを丁寧に指導してくれたので、発音の仕方を意識するようになった。

(2) 課題・対応策

- ・授業開始時に、天気や曜日などを全体で確認しているにも関わらず、個別に尋ねると答えられない児童がいる。
→次年度は、全体から個別に天気や曜日などを尋ねて答えられるように取り組んでいく。
- ・理解力に差があり、英語に対して自信が持てず、学習意欲の低い児童がいる。
→ゲームや活動前に、個別に支援し児童が興味を持って取り組めるように工夫していく。